春日部市テニス協会　会員規則　関係

９．大会出場注意事項　Ⅰ　大会参加についての心得とお願い

大会ごとに参加条件が異なるので、申込時には大会開催案内に十分注意をする。
受付の場所や時間は、各人によって異なることがあるので大会実施要領に従う。

１．大会会場の変更

大会実施要項に記載されている場所は､雨天順延や会場の都合など止むを得ない事情により変更がある。変更内容については当協会が公示する最新情報で確認する。

２．時間の厳守

① 指定の受付時間の１０分前までに受付を終了する｡原則として指定時間を過ぎると大会に参加できなくなる。

② 試合はオーダーオブプレーに従いプレーをしなければならない｡試合への遅刻が１５分を超えるとレフェリーの最終判断でノーショウになりプレーができなくなることがある。

３．無断欠席の禁止

何らかの理由で大会の欠席事態が発生した選手（プレーヤー）は、可及的速やかにディレクターに通知をする。

４．メンバーの変更可能期限

大会でのメンバー変更は、原則として下記の要領が適用される。ただし、正式には各大会での実施要領に従う。また、メンバー変更が未処理のドロー表の場合は、試合前に対戦相手にメンバー変更があった旨を申し出る。

① 県大会予選会
エントリー（大会申込み）締切り時まで可能。
同時開催の非予選会は②を適用する。

② その他のダブルス、ミックスダブルス大会
大会当日の受付時まで可能。ただしドローの変更を意図したと思われるメンバー変更は認められない。

③ シングルス大会（小学生・中学生大会を含む）
エントリー（大会申込み）締切り時まで可能。

５．大会ルール

春日部市テニス協会の大会は､「セルフジャッジ」審判方式を採用している。ルールの詳細は日本テニス協会（JTA）発行の「テニスルールブック」に準じる。

(1) セルフジャッジの基本

① スコアのアナウンス：サーバーがサーブを打つ前にレシーバーに聞こえるようにアナウンスする。

② 判定者の原則：ネットより自分側のコートについて判定してコールする。
- アウト・フォルトの判定基準は、ボールがラインにタッチ又は判定が不能の場合はグッドである。
- その他、ボールの２度突きやノットアップ（ツーバンド)、フットフォルト等の判定に適用される。

③ コール後の訂正：アウトやフォルトとコールした判定を覆すと失点となる。
ダブルスでは一人のプレーヤーが行えば成立するが、ペアの判定が食い違った場合は失点となる。ペアの判定が食い違ったとしても「フォルト」「アウト」をコールしたプレーヤーが直ちに「グット」と訂正した場合は、1回目に限り故意でない妨害としてポイントレットになる。

④ サービスレット：サーブされたボールがネット・ストラップ・バンドに触れて正しいサービスコート内に入ったもしくはレシーバーやその持ち物に触れた場合、またはレシーバーがノットレディを宣告していたときにサービスが打たれた場合に適用される。

⑤ 他コートからのボールの侵入：インプレー中に発生した場合レットをコールしてそのポイントをやり直す。セカンドサーブのモーションに入っている場合は、ファーストサーブからやり直す。コール直

前のプレーは有効とする。コールはプレーヤーの誰でもが出来る。

⑥ ラケット以外の着衣･持ち物を地面に落とした場合:1 回目はレットをコールしてポイントをやり直す。2 回目以降は落とすたびに失点する（パートナーでも失点）。ただしレットをかけずにプレーが終了したときのポイントは成立する。振動止はラケットと見なされる。

⑦ スコアが分からなくなった場合：双方が合意できる最初のスコアまでさかのぼり、それ以降の合意できたポイントを足したスコアから再開する。

⑧ 誤りの訂正：テニス規則に係る誤りが発見された時は、誤りに気づくまでに行われたポイントは原則としてすべて有効である。

(2) 大会本部への届出事項(ロービングアンパイアを設置する大会においては大会本部をロービングアンパイアに読み替えて運用する。)

大会本部への連絡は、相手にその旨を伝えてから行う。

① 相手選手の言動やコールに疑問があるとき。

② プレーヤー同士では解決できないようなトラブルが生じたとき。

③ 試合中にトイレなどで一時的にコートを離れるとき。

④ メディカルタイムアウトを取るときは、相手にその旨を伝えて第三者に依頼して大会本部に連絡して当人はコートに残る。1 カ所に 1 回限り 3 分間取ることができるが、原因が怪我などによる場合で疲労による場合は取れない。

(3) 各大会での注意事項

① オーダー オブ プレー

・ 公式掲示板（ホワイトボード）の指示に従い、予め大会本部で試合球を貰い指定コートに入る。
試合が終了したら勝者は自分達の対戦カードをはずし、下段の「試合待ち」のメンバーのカードを「試合中」に移動する。自分達の対戦カードを大会本部に提出してカウントを申請する。
「試合待ち」の欄に自分達のカードが掲示されたら本部に行って試合球を貰い待機する。

② カウントの表示

・ 各コートにカウント表示用カードが備え付けられているので、エンドチェンジの時にカードをめくり、それぞれのエンドのカウントを表示する。試合が終了したら 0 に戻しておく。
試合待ちの選手は、自分の入るコートの試合進行をカウント表示カードで確認しながら、試合終了したら直ちにコートに入れるよう近くに待機する。

③ 団体戦

(ア) 原則として、勝敗が決していても消化試合として 3 試合を行う。ただし、変更があるので正式には各大会実施要領に従う。

(イ) 当日受付時間までにメンバーがそろわない場合：揃っているメンバーで初戦を行うが勝ち上がりの権利はない。

(ウ) 2 回戦以降に欠員が出た場合：大会中に怪我をして欠員が出た場合、揃っているメンバーで試合を行い、対戦できない試合は負けとして勝敗を決する。それ以外の理由で欠員が出た場合はＷＯ（ウォークオーバー）とする。

④ 県大会予選会

別に定める「県大予選会出場選手の注意事項」を厳守すること。

・ 県大予選会出場資格には、「県大会に出場資格のある者は参加できない」などの規制がある。

(ア) 県大予選会で着用するテニスウエアは、県大で認められるテニスウエアを着用しなければならない。

(イ) ダブルエントリーは、県テニス協会の禁止事項で、個人のみならず当協会も厳しく処罰されるので各人が厳重に注意すること。

(ウ) 予選会と同時に行われる非予選会は、予選会に定める規制の適用外で、その他の大会と同様の扱いになる。